

明治初期のキリシタン禁教により迫害された信徒のことは長崎津和野においてよく知られている。長崎から広島に流された者の一部は1870年(明治3)7月1日五日市に着き改宗を迫られた。うち三名は激しい拷問にたえ信仰を守り五日市の地で殉教した。

家頭 文次郎 せがれ	喜蔵	40才	1870年10月20日	召天
喜蔵妻	みつ	39才	1870年7月13日	召天
家頭 惣四郎 娘	くら	12才	1870年8月8日	召天

1987年10月 建立